



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 オーベクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3583 URL <https://www.aubex.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 則義
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 塚越 孝弘 (TEL) 03-6701-3200
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,658	△1.8	341	△6.8	366	1.0	269	7.1
2022年3月期第2四半期	2,706	17.6	366	162.8	362	149.1	252	161.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 296百万円(12.2%) 2022年3月期第2四半期 263百万円(169.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	97.39	—
2022年3月期第2四半期	91.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	9,440	5,642	59.8	2,031.97
2022年3月期	9,441	5,416	57.4	1,957.25

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,642百万円 2022年3月期 5,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	0.3	650	△8.0	630	△13.4	520	△3.1	187.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,092,623株	2022年3月期	3,092,623株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	315,926株	2022年3月期	325,226株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	2,770,811株	2022年3月期2Q	2,763,913株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更等)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中で徐々に景気の持ち直しの動きがみられたものの、世界的な資源およびエネルギー価格の高騰やインフレの進行、またサプライチェーンの混乱や円安の急激な進行などの影響により、先行きは不透明な状況が継続しております。

このような事業環境の中、当社グループは、基本方針を「新市場(スタンダード市場)において持続的成長と企業価値向上を具現化する」とする第8次中期経営計画(オーベクスビジョン2024)の目標達成に向けてスタートし、既存事業の強化による事業拡大、持続的成長に向けた設備投資、グループ技術を結集した新製品の開発および新分野への展開などの基本戦略の実行に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,658百万円(前年同四半期比1.8%減)、営業利益は341百万円(前年同四半期比6.8%減)、経常利益は366百万円(前年同四半期比1.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は269百万円(前年同四半期比7.1%増)となりました。営業利益率は12.8%となり、前年同四半期比で0.7ポイント減少しました。経常利益率は13.8%となり、前年同四半期比で0.4ポイント増加しました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(テクノ製品事業)

テクノ製品事業は、中国のゼロコロナ政策による各地区のロックダウン、物流費や電力費の高騰および原材料価格の値上げなどの影響があったものの、売上は堅調に推移しました。その結果、売上高は1,965百万円(前年同四半期比2.2%減)、セグメント利益は451百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。セグメント利益率は23.0%となり、前年同四半期比で0.7ポイント増加しました。

(メディカル製品事業)

メディカル製品事業は、長期化したコロナ禍の影響により営業活動に制約がかかる中、プロモーション活動および収益確保に注力しました。その結果、売上高は693百万円(前年同四半期比0.3%減)、セグメント利益は44百万円(前年同四半期比42.7%減)となりました。セグメント利益率は6.4%となり、前年同四半期比で4.7ポイント減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、9,440百万円（前連結会計年度末は9,441百万円）となりました。これは主に、仕掛品133百万円の増加があるものの、受取手形及び売掛金101百万円、土地58百万円などが減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、3,798百万円となりました。これは主に、その他の流動負債91百万円、未払法人税等72百万円、賞与引当金33百万円などがそれぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ225百万円増加し、5,642百万円となりました。これは主に、利益剰余金126百万円、土地再評価差額金66百万円などがそれぞれ増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、2,476百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、190百万円の資金の増加（前年同四半期 649百万円の資金の増加）となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益405百万円、減価償却費143百万円、減少要因として棚卸資産の増加額212百万円、法人税等の支払額154百万円などがあったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、44百万円の資金の減少（前年同四半期 47百万円の資金の減少）となりました。これは主に、減少要因として有形固定資産の取得による支出143百万円、増加要因として有形固定資産売却による収入106百万円などがあったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、113百万円の資金の減少（前年同四半期 20百万円の資金の減少）となりました。これは主に、減少要因として長期借入金の返済による支出222百万円、配当金の支払額76百万円、増加要因として長期借入れによる収入200百万円などがあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,499,229	2,552,172
受取手形及び売掛金	1,316,033	1,214,221
商品及び製品	174,191	209,589
仕掛品	1,276,414	1,409,910
原材料及び貯蔵品	429,102	480,649
その他	161,602	112,692
貸倒引当金	△1,842	△1,637
流動資産合計	5,854,730	5,977,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,038,597	2,945,264
減価償却累計額	△1,899,916	△1,843,372
建物及び構築物 (純額)	1,138,680	1,101,892
機械装置及び運搬具	3,161,918	3,209,613
減価償却累計額	△2,712,890	△2,772,924
機械装置及び運搬具 (純額)	449,028	436,689
土地	1,509,554	1,451,031
リース資産	241,262	209,192
減価償却累計額	△160,417	△141,414
リース資産 (純額)	80,845	67,777
建設仮勘定	12,771	53,906
その他	543,953	536,709
減価償却累計額	△458,548	△466,783
その他 (純額)	85,405	69,926
有形固定資産合計	3,276,286	3,181,224
無形固定資産		
特許権	2,694	3,244
リース資産	3,668	1,877
その他	21,818	21,218
無形固定資産合計	28,181	26,340
投資その他の資産		
投資有価証券	88,971	97,079
出資金	130	130
繰延税金資産	111,791	87,749
再評価に係る繰延税金資産	6,262	-
その他	80,845	76,685
貸倒引当金	△5,994	△5,996
投資その他の資産合計	282,007	255,647
固定資産合計	3,586,475	3,463,212
資産合計	9,441,206	9,440,810

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,282	471,471
1年内返済予定の長期借入金	1,114,606	1,098,448
リース債務	31,997	24,341
未払法人税等	165,697	92,883
賞与引当金	150,567	117,324
その他	372,062	280,677
流動負債合計	2,314,213	2,085,147
固定負債		
長期借入金	1,145,700	1,139,600
リース債務	40,026	30,930
再評価に係る繰延税金負債	-	23,042
株式給付引当金	134,045	138,644
退職給付に係る負債	390,230	380,771
その他	515	515
固定負債合計	1,710,516	1,713,503
負債合計	4,024,729	3,798,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	518,489	518,489
利益剰余金	3,109,540	3,235,979
自己株式	△212,795	△206,244
株主資本合計	5,355,068	5,488,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,651	40,824
土地再評価差額金	△39,249	27,151
為替換算調整勘定	65,005	86,125
その他の包括利益累計額合計	61,407	154,100
純資産合計	5,416,476	5,642,159
負債純資産合計	9,441,206	9,440,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,706,753	2,658,520
売上原価	1,746,931	1,682,148
売上総利益	959,822	976,371
販売費及び一般管理費	593,595	635,062
営業利益	366,226	341,308
営業外収益		
受取利息	243	284
受取配当金	1,481	2,217
為替差益	2,504	28,973
その他	2,027	3,178
営業外収益合計	6,257	34,653
営業外費用		
支払利息	7,563	6,812
その他	2,034	2,756
営業外費用合計	9,598	9,569
経常利益	362,885	366,393
特別利益		
固定資産売却益	2,267	61,968
特別利益合計	2,267	61,968
特別損失		
固定資産売却損	-	22,868
固定資産除却損	6	47
特別損失合計	6	22,915
税金等調整前四半期純利益	365,146	405,445
法人税、住民税及び事業税	122,782	84,540
法人税等調整額	△9,676	51,065
法人税等合計	113,106	135,606
四半期純利益	252,039	269,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,039	269,839

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	252,039	269,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,185	5,172
為替換算調整勘定	5,654	21,119
その他の包括利益合計	11,839	26,291
四半期包括利益	263,879	296,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,879	296,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	365,146	405,445
減価償却費	130,828	143,717
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,867	△9,459
株式給付引当金の増減額(△は減少)	12,810	11,150
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,729	△33,448
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△57	△202
受取利息及び受取配当金	△1,724	△2,501
支払利息	7,563	6,812
為替差損益(△は益)	△3,268	△3,358
有形固定資産除却損	6	47
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,267	△39,100
売上債権の増減額(△は増加)	8,659	111,214
棚卸資産の増減額(△は増加)	48,179	△212,773
仕入債務の増減額(△は減少)	70,951	△15,665
未払消費税等の増減額(△は減少)	60,919	36,677
その他の流動資産の増減額(△は増加)	12,042	757
その他の流動負債の増減額(△は減少)	11,592	△44,813
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△1,048	△6,013
その他の固定負債の増減額(△は減少)	1,483	△0
小計	752,414	348,486
利息及び配当金の受取額	1,724	2,501
利息の支払額	△7,576	△6,694
法人税等の支払額	△97,225	△154,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	649,337	190,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,000	△12,001
有形固定資産の取得による支出	△35,685	△143,674
有形固定資産の売却による収入	2,267	106,817
無形固定資産の取得による支出	△2,121	△1,967
投資有価証券の取得による支出	△627	△652
保険積立金の積立による支出	△1,771	△1,518
保険積立金の解約による収入	-	7,983
敷金の回収による収入	148	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	2,652	985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,140	△44,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	250,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△204,868	△222,258
配当金の支払額	△46,197	△76,732
リース債務の返済による支出	△19,814	△14,709
自己株式の取得による支出	△19	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,900	△113,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,006	8,504
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	585,304	40,941
現金及び現金同等物の期首残高	1,867,635	2,435,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,452,939	2,476,169

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルスの感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,010,237	695,081	2,705,319	1,434	2,706,753
外部顧客への売上高	2,010,237	695,081	2,705,319	1,434	2,706,753
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,916	1,916	—	1,916
計	2,010,237	696,998	2,707,235	1,434	2,708,669
セグメント利益又は損失(△)	449,155	77,427	526,583	△13,991	512,592

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	526,583
「その他」の区分の損失(△)	△13,991
全社費用(注)	△146,365
四半期連結損益計算書の営業利益	366,226

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,965,087	693,087	2,658,175	344	2,658,520
外部顧客への売上高	1,965,087	693,087	2,658,175	344	2,658,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,437	2,437	12,000	14,437
計	1,965,087	695,524	2,660,612	12,344	2,672,957
セグメント利益又は損失(△)	451,142	44,350	495,492	△4,279	491,213

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	495,492
「その他」の区分の損失(△)	△4,279
全社費用(注)	△149,904
四半期連結損益計算書の営業利益	341,308

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。